

令和4年度第1回防災ミーティングにおける意見交換

令和4年5月9日（月） 18：30～20：00

出席者数 83名

1 令和4年度防災訓練等の年間計画について

町からの説明【要約】

- ・ 今年度は、総合防災訓練及び津波土砂避難訓練実施後、間隔を空けずに地区と町で意見交換を行う場を設けるため、「訓練フィードバック会議」を実施する。
訓練実施後、各地区において反省点や課題などをまとめ、会議の中で情報共有し、課題整理を図る。また、会議結果をその後の防災ミーティングの中で、参加者に情報共有する。
- ・ 防災ミーティング、総合防災訓練及び津波土砂避難訓練、訓練フィードバック会議の実施時期や概要を説明（令和4年度における防災訓練等の年間計画を参照）。

⇒意見交換

ここでの意見交換はなし。

2 令和4年度 大磯町総合防災訓練の実施計画（案）について

町からの説明【要約】

- ・ 訓練日時や内容について説明（令和4年度大磯町総合防災訓練実施計画（案）を参照）。
- ・ 周知・広報については、広報おおいそ6月号に併せて訓練チラシを全戸配布する。
また、別紙チラシ案を5月20日（金）までに校正し、内容を確定する。意見等がある場合は、それまでに危機管理課まで連絡するものとする。
- ・ おおいそ防災・行政ナビでも配信を行う。

（1）安否確認訓練について

- ・ 訓練項目、地区の事前準備、集計の流れについてスライドの資料に沿って説明。

（2）参加型訓練について

- ・ 訓練項目、訓練の流れ、レイアウトのイメージについてスライドの資料に沿って説明。

※ 提出物（地区のみ）について

- ・ 令和4年度大磯町総合防災訓練に係る安否確認方法・内容について（提出用）
提出期限：5月20日（金）
- ・ 安否確認訓練 集計結果報告用シート（MC A報告内容）
安否確認訓練実施後、後日町に提出。

⇒意見交換

○ 安否旗の配布希望について

- Q 安否旗など掲出するものを町で統一したものを全戸に配布することはできないか。町全体で統一することで意識の高揚につながると考えている。
- A 現時点では考えていない。既に統一している地区もあるので、各地区で用意していただきたい。

○ コロナ禍における安否確認の実施における町の考え方について

- Q 安否確認ができていない家庭への確認について、新型コロナウイルスの影響を鑑み、訪問することは避けてきた。そのような状況下でも安否確認ができない家庭へのフォローをすることについての町の考え方を聞きたい。
- A いつ発生するか分からない大規模災害に備えるために、平時の準備として把握する必要があると考えている。

○ 想定外のケースでの集計方法の工夫が必要

- Q 実際に災害が起きた際に、負傷者の発生などにより訓練通りに安否確認をすることができないことも想定される。集計の取り方など工夫をする必要があると考えている。
- A 防災訓練後にフィードバック会議という会議を初めて実施したいと考えている。その会議の中で訓練の振り返りをして、ご意見をいただきブラッシュアップしていきたい。

○ 参加型訓練の実施場所及びチラシによる啓発内容について

- Q 参加型訓練は大磯小学校だけでなく、国府小学校の実施も検討してもらいたい。また防災訓練のチラシについては子供向けも良いと思うが、行きたいと思えるポイントが分からないので工夫してもらいたい。
- A このような参加型の訓練は久しぶりの開催となるため、まずは大磯小学校での開催としたい。参加型訓練の楽しめるポイントなどについては、現在調整中であるが、興味や関心を持ってもらえるような展示や体験をしていきたい。その内容をチラシにも反映させていきたい。

○ 町内会に加入していない世帯への周知方法について

- Q 高麗も世帯数が多いが、町内会に入っていない世帯もいる中で防災訓練の周知が行きわたらない。
- A 町としても課題と捉えているが、広報のほか、ホームページや防災・行政ナビでも

周知をしていきたいと考えており、周知の方法については引き続き考えていきたい。
町としては共助も重要だと捉えているので、多くの方に参加してもらえよう工夫していきたい。

○ チラシに記載している時間について

Q 安否確認訓練では8時33分から11時までの間、安否旗の掲出となっているが、各地区からの報告が11時までとなっている。各地区の集計が8時33分以降に開始されと考えると、11時までの間、安否旗の掲出とすると11時に安否旗を出す人がいるかもしれないので矛盾が生じる。

A 参加型訓練の時間と重複する時間もあるので、このような時間設定にしている。チラシの表現方法については配布までの間に修正していきたい。

3 津波避難ビルに係る見直し状況について

町からの説明【要約】

- ・ これまでの経過や今後の予定についてスライド資料に沿って説明。
- ・ 津波避難ビルの新たな選定基準に基づき、見直しを進め、8月19日（金）実施の第2回防災ミーティングで経過をお知らせする。

○ 津波避難タワーについて

Q 県の報告によると大磯町では17.1mの津波が来ると想定されているが、それに耐えることができるビルを指定しているのか。また、北浜海岸に設置されている津波避難タワーも10m程度しかないと思うが、大丈夫なのか。

A 大磯町で想定されている17.1mの津波は最大値であり、二宮町との境において最大値の津波が来ると想定されている。現在詳細のデータは持ち合わせていないが、津波避難タワーが設置されている地域については、最大値の津波は来ず、津波避難タワーの高さは安全とされている。

4 その他

大磯町新庁舎整備基本構想について

町からの説明【要約】

大磯町新庁舎整備基本構想（概要版）の内容について総務課から説明。

※ここでは資料説明のみ。

○ 全体を通しての意見交換

Q 地区の中で様々な会があるが、防災担当が集い、意見を出し合う場があるといいと思う。

A 参考とする。

Q 災害は仕事などで男性が不在の時に起こる可能性もある。東日本大震災の際には女性の被害などもあった。女性視点での防災について考えていくよう、各自治体が行っているため、そのような視点での防災も考えてもらいたい。

A 新たに女性の職員も増え、女性視点の防災についても考え、取り組んでいきたい。

以 上